



2011年12月

# さくら

発行：偕行会透析医療事業部 さくら編集委員会

## インフルエンザについて

医療法人偕行会 透析医療事業部 副事業部長

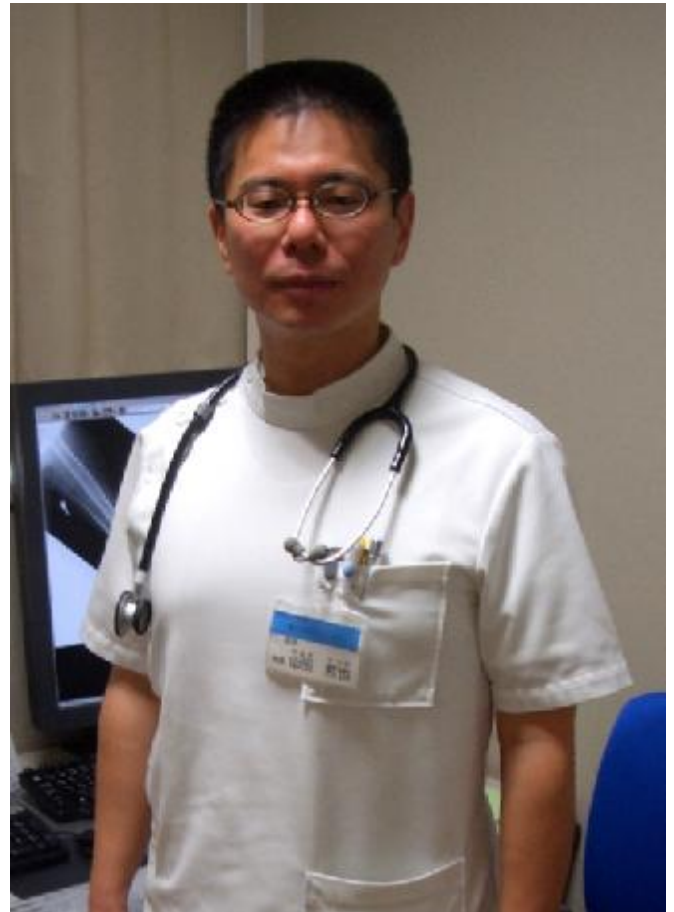
(瀬戸共立クリニック院長)

山田 哲也

めっきり寒くなって参りました。  
今冬に備え、皆様の多くがインフルエンザ予防接種を既にお済ませのことと存じます。ところでインフルエンザとは何でしょうか？ 普通の「かぜ」とは何が違うのでしょうか？ 一緒に学んでいきましょう。

### (1) 「インフルエンザ」とは？

インフルエンザはインフルエンザウィルスによって引き起こされる感染症です。普通の「かぜ」ではのどの痛み、鼻水、咳などが主な症状で、発熱があってもそれほど高くなく全身症状はそれほどありません。しか



しインフルエンザは38度以上の発熱が突然出現し、頭痛・関節痛・筋肉痛を伴います。のどの痛み、鼻水、咳といった通常の「かぜ」と同様の症状もみられます。高齢の方、免疫力が低下している方は肺炎を合併するなど、重症となることがあります。透析患者さんは免疫力が低下していますので注意が必要です。予防接種を積極的にお勧めするのはこの為です。